

ニュース学童保育

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

午前からの開所 1日当たり、3万2千円

新型コロナウイルスによる臨時休校で、学童保育が対応することになり、みなさん、大変ななかで保育していることと思います。今回の臨時の対応に伴い、国が予算付けをしました。

臨時の財政支援の概要

は、(表1)の通りです。3月4日の厚生労働省交渉では、「午前中、2時間でも4時間でも開所していれば、同額か?」と聞いたところ、厚労省は「そうです。なるべく、シンプルに取れるようにしたい」と言っていました。

また、4日の厚生労働省交渉では、年度内に執行したい、とのことでした。そのため、各自治体でも早期の対応をするように、確認する必要があります。

また、当初、「1万2千円」の提案でしたが、建交労は「積算根拠が明らかではない。時間外労働も発生するし、増額を求めたい」と訴え、6日付で、増額が発表されました。

その後の電話で問い合わせしたところ、「1万

**来年度
補助金、
処遇改善
10万円超増**

来年度の学童保

育の予算(案)も、発表されました。詳細は、ニュースとともに別紙で送ります。

補助単価は「36〜45人の枠で、年額約9万円の増額ですが、処遇改善は10万2千円、常勤配置は14万6千円の増額です。

かつて「いつ削られるかわからない」と、不安視

なされていた処遇改善は、増額されていきます。公費の引き上げを春闘に活かしましょう。(事務局長 田村一志)

各地の実態もお知らせください

今回の新型コロナ対策で、各地での特徴的な動きがあれば、部会事務局長へお知らせください。

また、定員を超えた受入れ、無理な時間外労働など、困った事例などもお知らせください。

みなさんも、お体に気をつけて。

(表1) 小学校の臨時休業に伴う 財政支援について

【基準額】

- 午前中から運営する場合
1支援・1日当たり10,200円
- さらに、人材確保等に要する費用
1支援・1日当たり20,000円
@両方の補助を受けることが可能です。

- 午前中からしょうがい児を受け入れている場合
1支援・1日当たり6,000円
- 午前中からしょうがい児を3人受け入れている場合
1支援・1日当たり6,000円

*ただし、国から正式な要綱が出ていませんので、日々、厚生労働省に問い合わせをしています。分かり次第お知らせします。

*学校休業に合わせて、学童保育所が閉所期間が対象です。
例：3/2~24 (ただし、土曜日は含まれない)
対象となるのは、16日間
単純計算で、30,200円×16日間=483,200円